

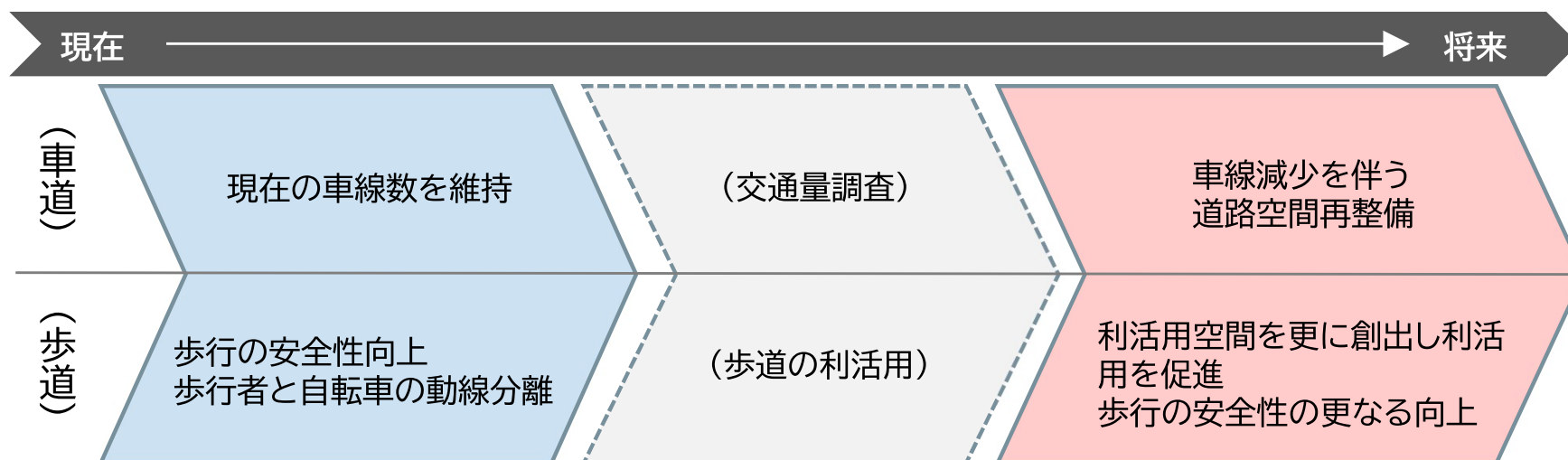
## 道路再整備の方向性(案)

---

# 道路再整備の方向性(案)

- 現状の4車線から2車線に車線減少を行った道路空間社会実験では、歩行者の通行量が大幅に増加し、道路空間利活用による沿道の賑わい創出が図られた一方、交通量・渋滞の課題が明確化した。
- 交通量・渋滞の課題については、交通シミュレーションや将来交通量推計により、周辺道路整備の影響等を検討したが、短期的に車線減少ができる環境にはないことが確認されたため、交通量調査や社会実験等の継続を通じ、更なる交通量の縮減を図るとともに関係者の理解を得ていく必要がある。
- 一方、現状の課題である歩行の安全性については、早期に対策を講じる必要がある。
- 地域活性化に大きな効果が見込まれる**車線減少を伴う道路空間再整備については中長期的な目標**として取組みを継続する。**短期的には賑わい創出に向けた取組みとともに現在の道路構成の中で歩行の安全性向上に向けた整備を進めることで、目指す通りの姿「歩いて楽しい 賑わいと交流が生まれる人中心の街並み」の実現を目指していく。**

## 段階的な道路再整備



# 道路再整備の方向性(案)

## 基本計画の掲載案

### 道路空間の再整備

エリアのメインストリートである旧国道4号について、車中心から人中心の道路空間に向けた整備を行う。歩行者にやさしく安全・安心な道路空間とすることはもちろん、この道路を通る人が豊かさを感じ、多様な活動を通して賑わいが生まれる通りとする。

#### 誰もが安全・安心で歩きやすい歩道空間の創出

- ・ 歩行の安全性向上を図るため、歩行者と自転車の動線分離を進める。
- ・ 歩行環境の改善を図るため、歩道の地上物(街路樹・花壇等)を見直し、必要に応じて撤去・移設等を行う。
- ・ 誰もが安心して通行できるよう、歩道のバリアフリー化の状況を確認し、必要に応じて修繕等を行う。

#### 歩道拡幅のための車線減少を伴う道路空間再整備

- ・ 車線減少の重要な要素となる交通量は、時代や交通環境による変化等を注視する必要があるため、継続的に交通量を調査し、道路空間再整備の時期を検討していく。
- ・ 電車やバスなど公共交通の更なる利用を促進していく。
- ・ 道路空間再整備の環境が整った際には、交通関係者や地域との十分な調整を行いながら進めていく。

#### 歩いて楽しい歩道空間の環境整備・利活用

- ・ 歩道空間の利活用に必要な電気・給排水設備等を整備を進める。
- ・ 賑わいのある歩道空間を構築するため、歩行者利便増進道路(ほこみち)制度を活用する。
- ・ 歩道空間を活用した賑わい創出には、商店街や沿道店舗との連携が必要なため、地域が主体となってルールを定め、活用していく。